

参考3 豊川市環境基本計画の中間見直しに向けた
事業所アンケート調査

～調査結果報告（速報値）～

目 次

1. 事業所アンケートの実施概要	1
2. 事業所アンケートの結果	1
(1) 事業所の属性.....	1
(2) 環境問題への関心.....	2
(3) 環境保全の取組についての考え.....	2
(4) 事業所で把握している環境負荷のデータ.....	3
(5) 環境負荷のデータのうち HP 等で公表・情報発信しているもの.....	3
(6) 環境保全の取組の実施状況.....	4
(7) 環境マネジメントシステムの導入状況.....	5
(8) 環境教育の実施状況.....	5
(9) 環境保全の取組、環境マネジメントシステムの導入効果.....	6
(10) 今後の環境保全の取組の方向性.....	6
(11) 環境保全の取組を実行するうえでの課題.....	7
(12) 環境保全の取組をより積極的に実行していくために必要なこと.....	7
(13) 地域の環境保全活動との関わり方.....	8
(14) 豊川市が環境問題に対して関心の高い市であるという認識.....	8
(15) 環境目標の今後の重要度.....	9
(16) 環境基本計画の重点施策の達成状況への評価.....	10
(17) 地球温暖化対策の取組状況.....	11
(18) 地球温暖化対策の取組内容.....	11
(19) 地球温暖化対策を進めるために取り組むべき施策.....	12
(20) 温室効果ガス排出量の削減目標の設定.....	12
(21) とよかわ環境パートナーシップ制度の登録状況.....	13
(22) 温室効果ガス排出量の削減を行う役割を担うと思う主体.....	13
(23) 温室効果ガスの削減に効果があると思う事業所の取組.....	14
(24) 気候変動に伴う災害への「適応」として思いつく具体的な対策.....	15
(25) 地球温暖化対策設備の導入状況.....	15
(26) 中小企業向けの省エネルギーセミナーへの参加意向.....	15
参考 アンケートの設問と設問の意図	16

1. 事業所アンケートの実施概要

事業所のアンケートの実施概要は右のとおりです。

■ アンケート調査の実施概要

項 目	概 要
調査期間	2024 年 6 月 1 日～2024 年 6 月 17 日
調査方法	豊川市内の事業所から 300 事業所を無作為抽出し、アンケート調査票を郵送。 調査票記載の URL・二次元バーコードからの web フォームでの回答、または郵送返信による回収。
発送数	300 件
回収数	76 件（紙面 40 件、web 36 件）
回収率	25.3%

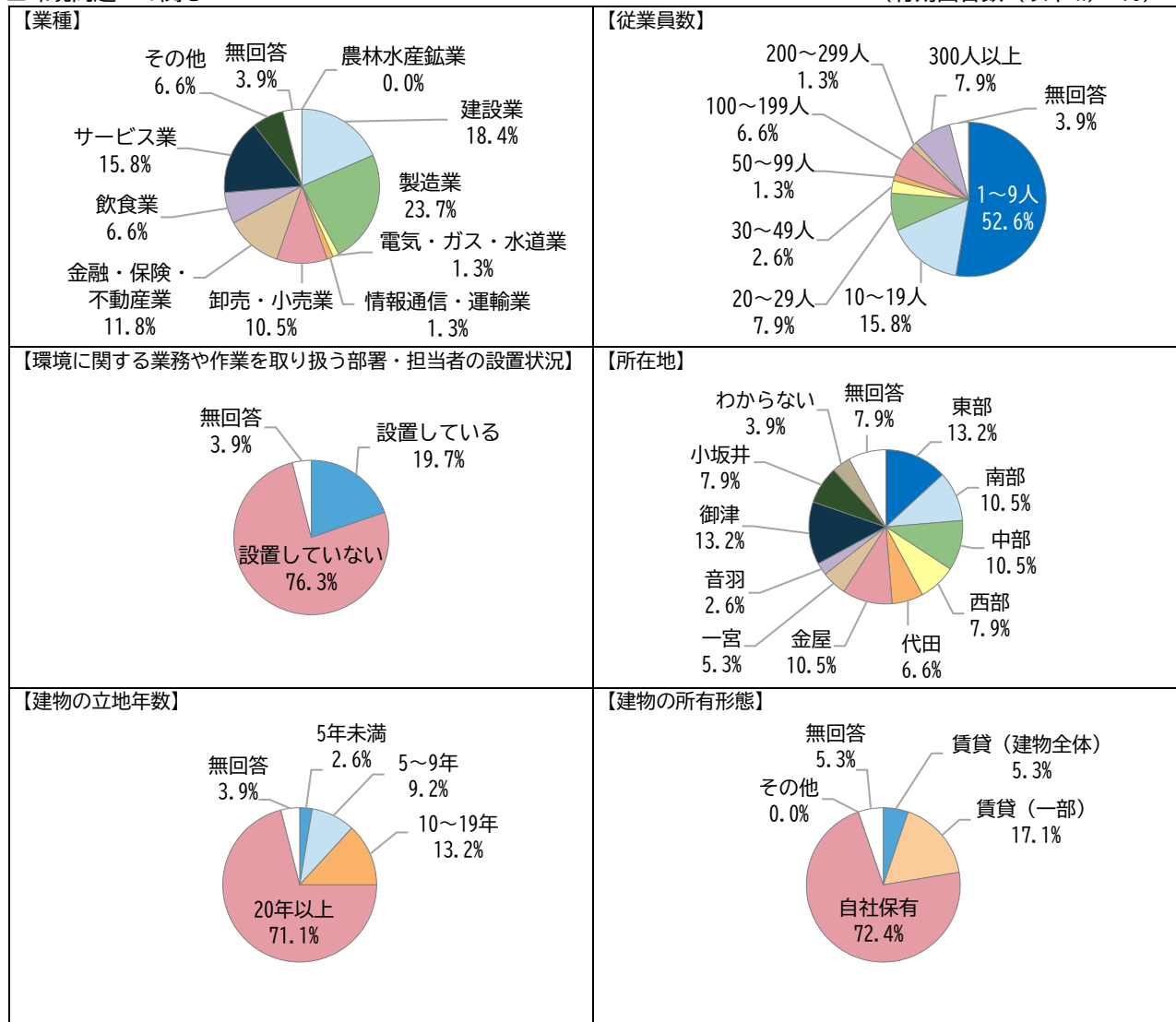
2. 事業所アンケートの結果

(1) 事業所の属性

- 業種や従業員数等の事業所の属性は以下のとおりです。

■ 環境問題への関心

(有効回答数 (以下 n) :76)



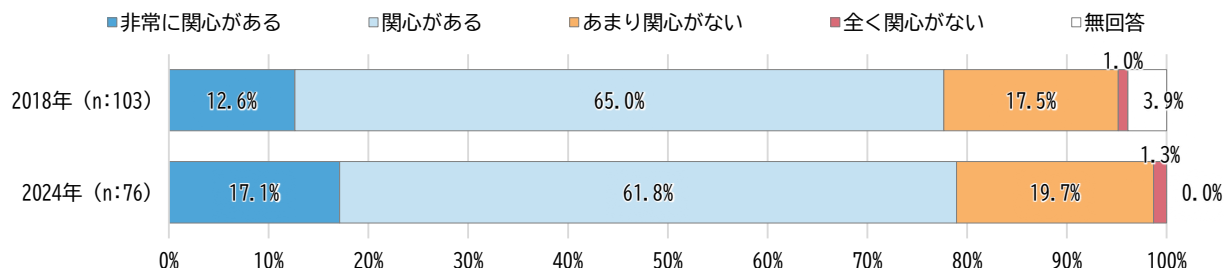
(2) 環境問題への関心

[単数回答]

- 環境問題に対して「非常に関心がある」が17.1%、「関心がある」が61.8%と合わせて78.9%の事業所が環境問題に関心を持っています。
- 2018年と比較して関心のある事業所の割合は大きく変化していません。

■環境問題への関心

(n:76)



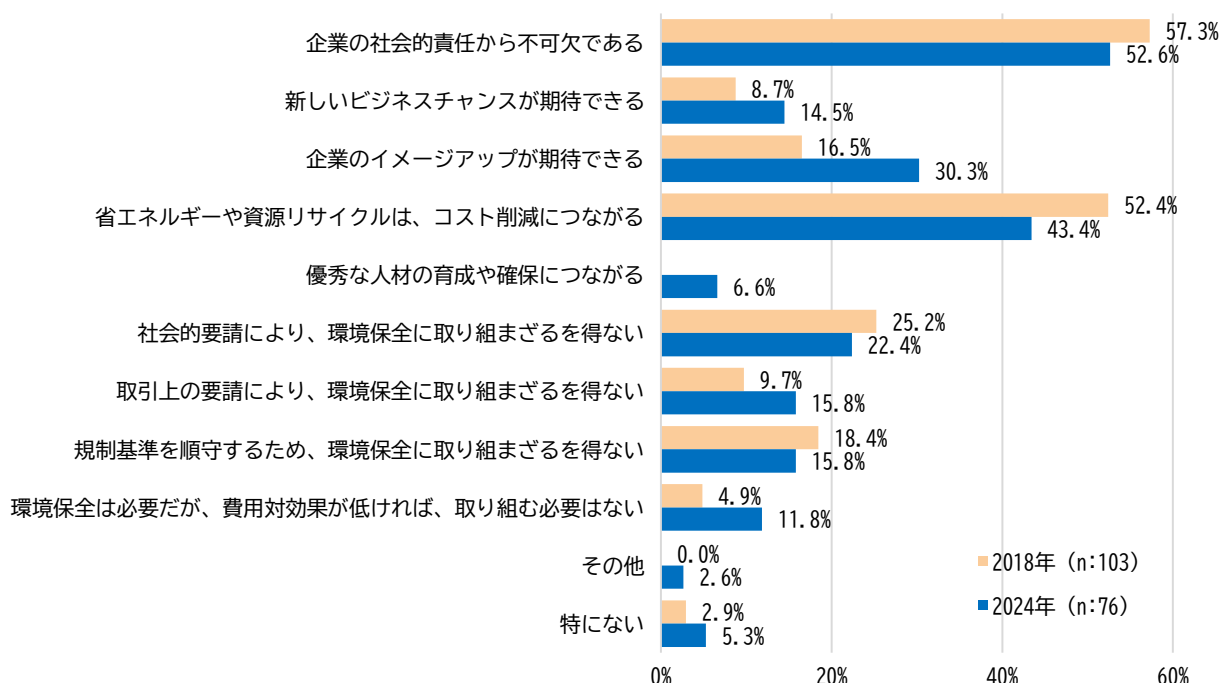
(3) 環境保全の取組についての考え

[複数回答]

- 環境保全の取組についての考えでは、2018年と同様に「企業の社会的責任から不可欠である」が最も多く、次いで「省エネルギーや資源リサイクルは、コスト削減につながる」が多くなっていますが、2018年に比べて、この2つの回答割合は減少しています。
- 2018年に比べて「新しいビジネスチャンスが期待できる」や「企業のイメージアップが期待できる」、「取引上の要請により環境保全に取り組まざるを得ない」という回答の割合が増加しており、企業価値の向上といった視点で環境保全の取組を考える事業所が増えていると考えられます。

■事業所が行う環境保全の取組についての考え

(n:76)



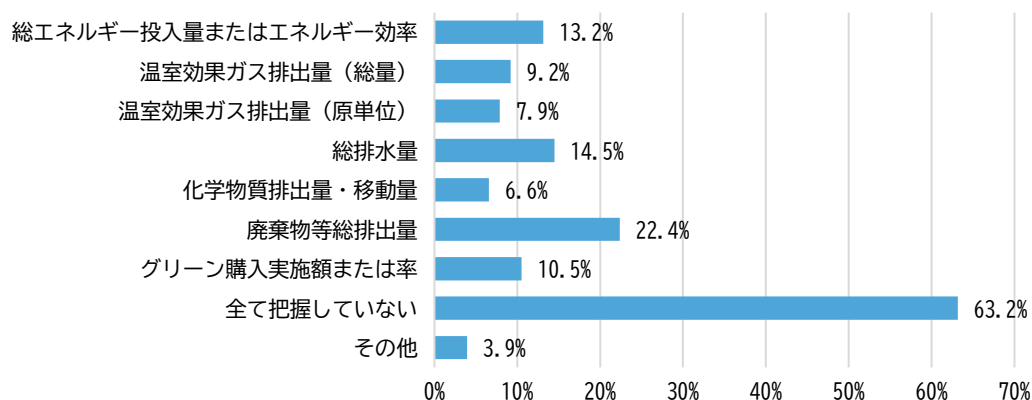
(4) 事業所で把握している環境負荷のデータ

[複数回答]

- 「すべて把握していない」が63.2%を占めています。
- 把握しているデータでは「廃棄物等総排出量」が22.4%と最も多く、次いで「総排水量」が14.5%、「創エネルギー投入量またはエネルギー効率」が13.2%となっています。

■事業所で把握している環境負荷のデータ

(n:76)



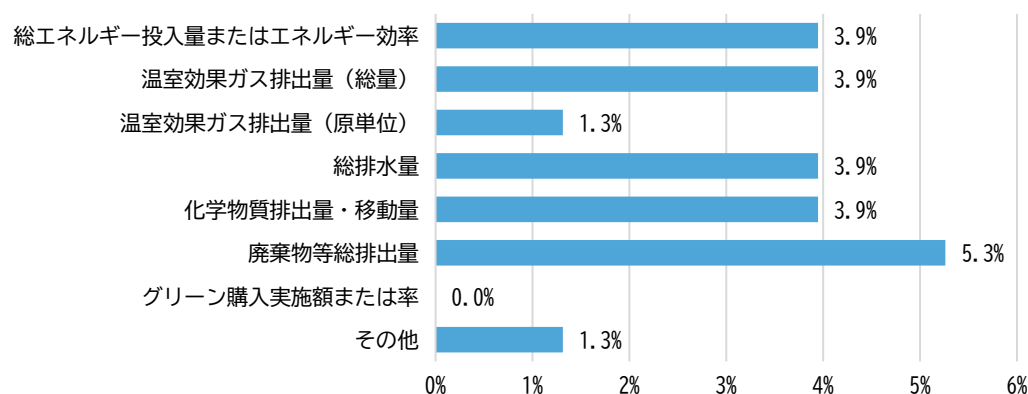
(5) 環境負荷のデータのうち HP 等で公表・情報発信しているもの

[複数回答]

- 環境負荷のデータについて HP 等で公表・情報発信しているものは、「廃棄物等総排出量」の5.3%が最も多く、それ以外は5%を下回っています。

■HP 等で公表・情報発信している環境負荷のデータ

(n:76)



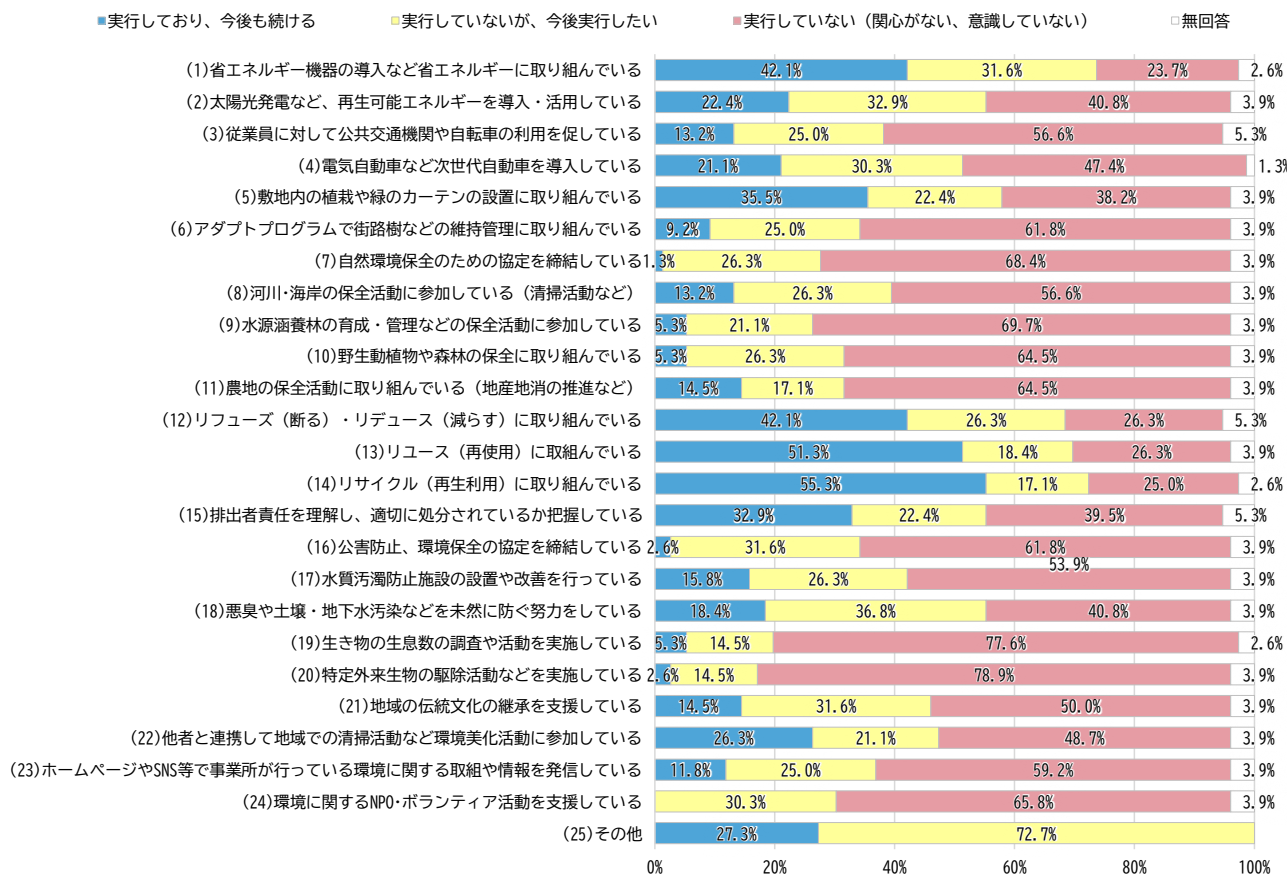
(6) 環境保全の取組の実施状況

[単数回答]

- 「(14)リサイクル（再生利用）に取り組んでいる」や「(13)リユース（再使用）に取り組んでいる」、「(1)省エネルギー機器の導入など省エネルギーに取り組んでいる」といった取組が多く行われています。
- (19)生き物の生息数の調査や活動を実施している」や「(20)特定外来生物の駆除活動などを実施している」などの自然環境や生物多様性の保全の取組は10%を下回る状況です。

■環境保全の取組の実施状況

(n:76)

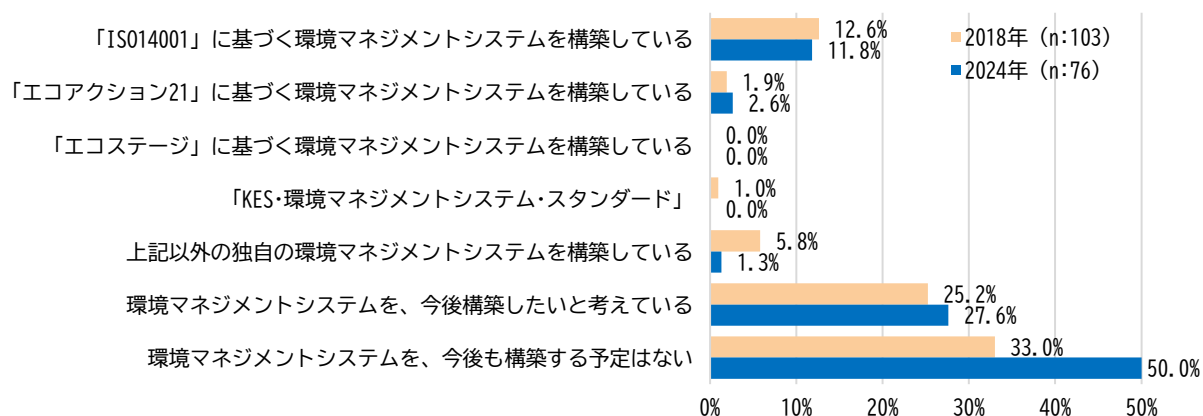


(7) 環境マネジメントシステムの導入状況

[複数回答]

- 環境マネジメントシステムについて「環境マネジメントシステムを、今後も構築する予定はない」が 50%、「環境マネジメントシステムを、今後構築したいと考えている」が 27.6%と約 8 割が環境マネジメントシステムを導入していない状況であり、2018 年より導入率は低下しています。

■環境マネジメントシステムの導入状況



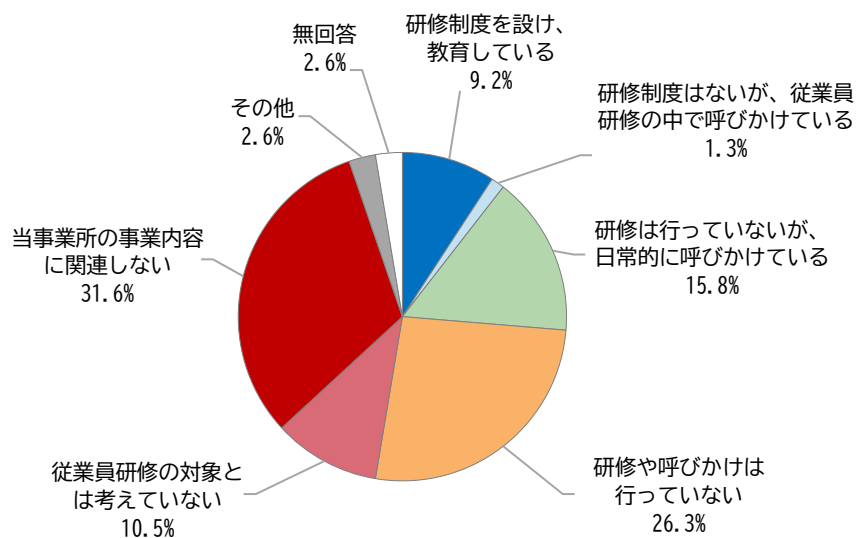
(8) 環境教育の実施状況

[単数回答]

- 「当事業所の事業内容に関連しない」が 31.6%、「研修や呼びかけは行っていない」が 26.3%と従業員への環境教育はあまり行われていません。

■従業員への環境教育の実施状況

(n:76)



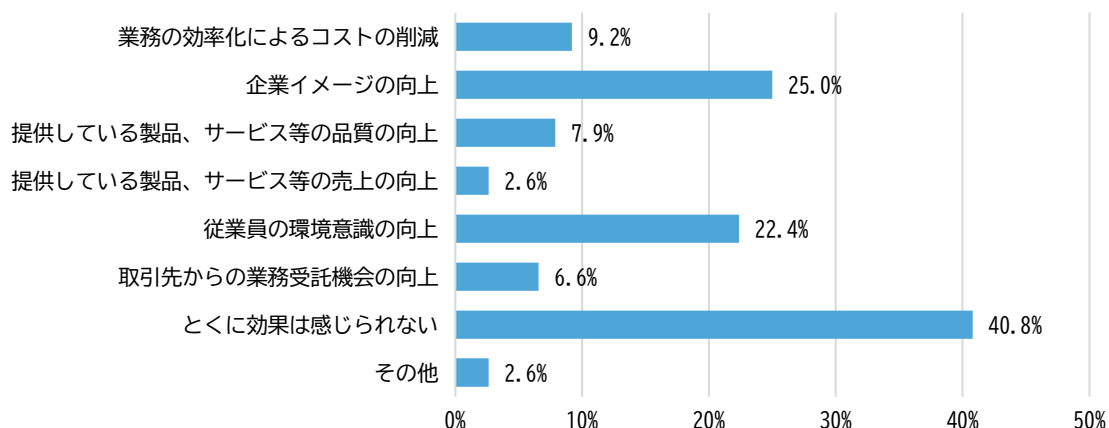
(9) 環境保全の取組、環境マネジメントシステムの導入効果

[複数回答]

- 「企業イメージの向上」が25.0%、「従業員の環境意識の向上」が22.4%となっているものの、最も多い回答は「とくに効果は感じられない」となっています。

■環境保全の取組・環境マネジメントシステムの効果

(n:76)



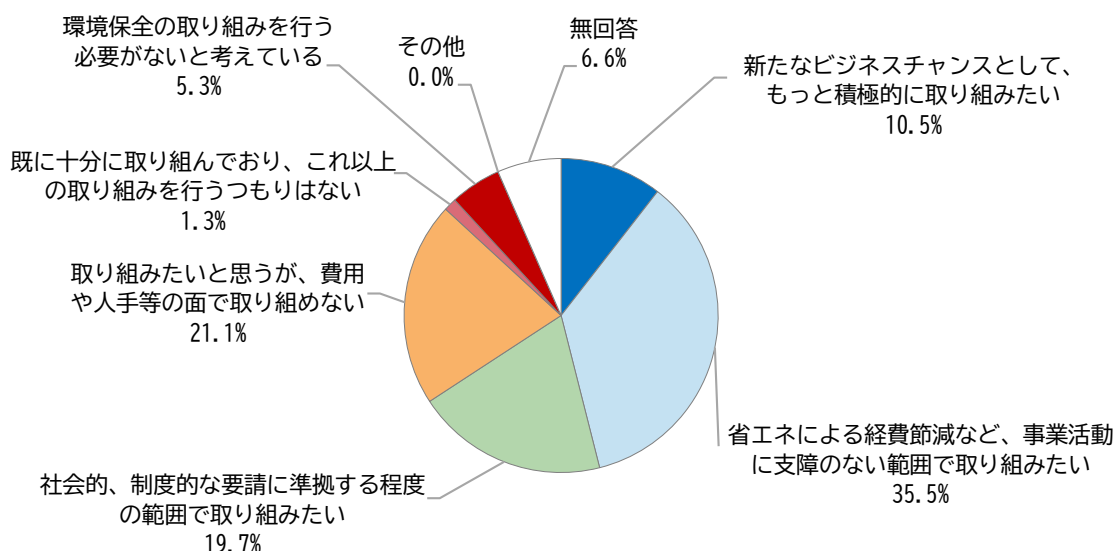
(10) 今後の環境保全の取組の方向性

[単数回答]

- 「省エネによる経費節減など、事業活動に支障のない範囲で取り組みたい」が35.5%と最も多く、「取り組みたいと思うが、費用や人手等の面で取り組めない」が21.1%、「社会的、制度的な要請に準拠する程度の範囲で取り組みたい」が19.7%となっています。
- 「環境保全の取り組みを行う必要がないと考えている」という考えは他の考えに比べ5.3%と非常に少なくなっています。

■今後の環境保全の取組の方向性についての考え

(n:76)

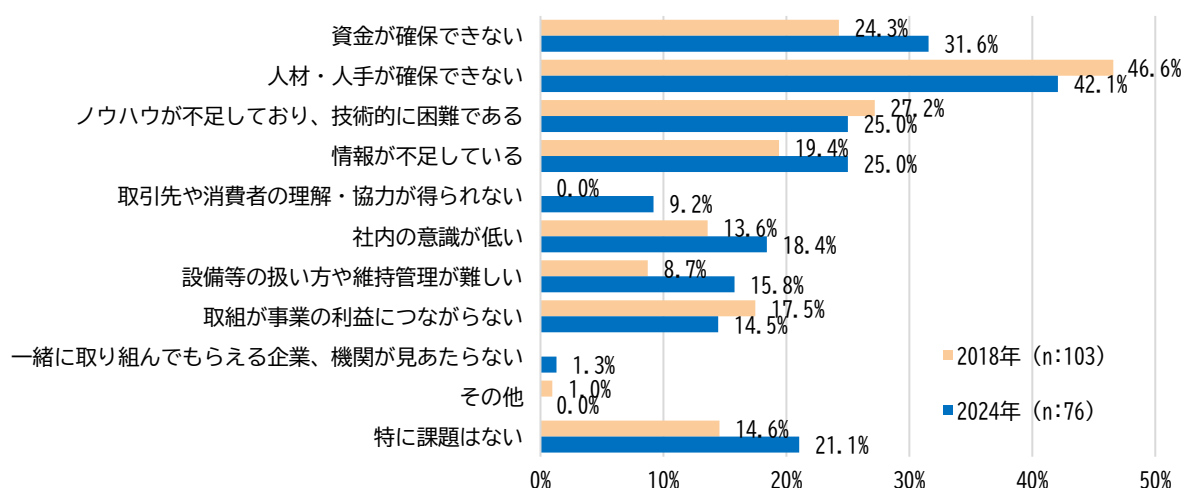


(11) 環境保全の取組を実行するうえでの課題

[複数回答]

- 「人材・人手が確保できない」が42.1%と最も多く、次いで「資金が確保できない」が31.6%となっています。
- 2018年と比べて「資金が確保できない」や「設備等の扱い方や管理が難しい」、「情報が不足している」といった課題が増加しています。

■環境保全の取組を実行するうえでの課題

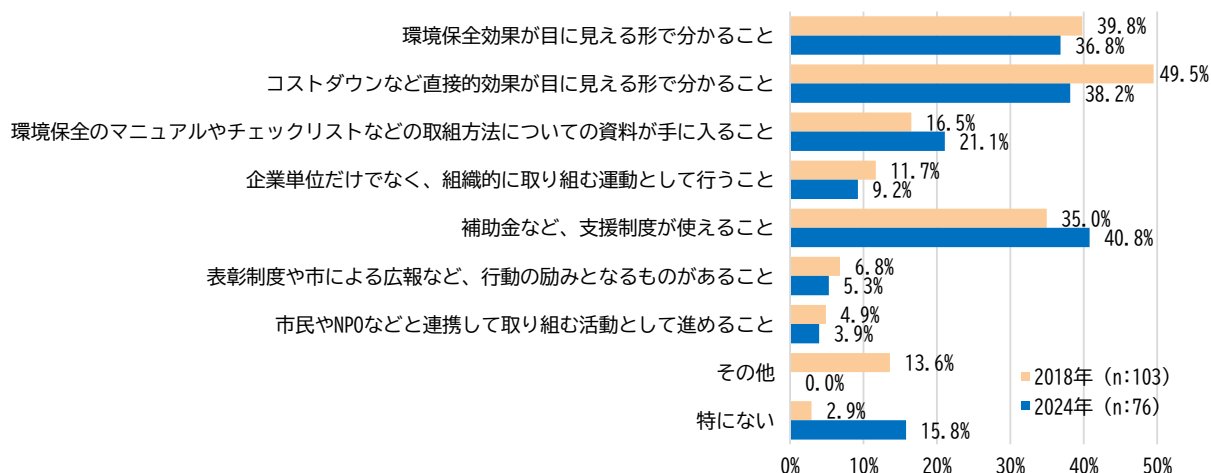


(12) 環境保全の取組をより積極的に実行していくために必要なこと

[複数回答]

- 「補助金など、支援制度が使えること」や「コストダウンなど直接的効果が目に見える形で分かること」、「環境保全効果が目に見える形で分かること」などが必要だと考えられています。
- 2018年に比べて「補助金など、支援制度が使えること」と「環境保全のマニュアルやチェックリストなどの取組方法についての資料が手に入ること」が必要だとする回答が増加しています。

■環境保全の取組をより積極的に実行していくために必要なこと



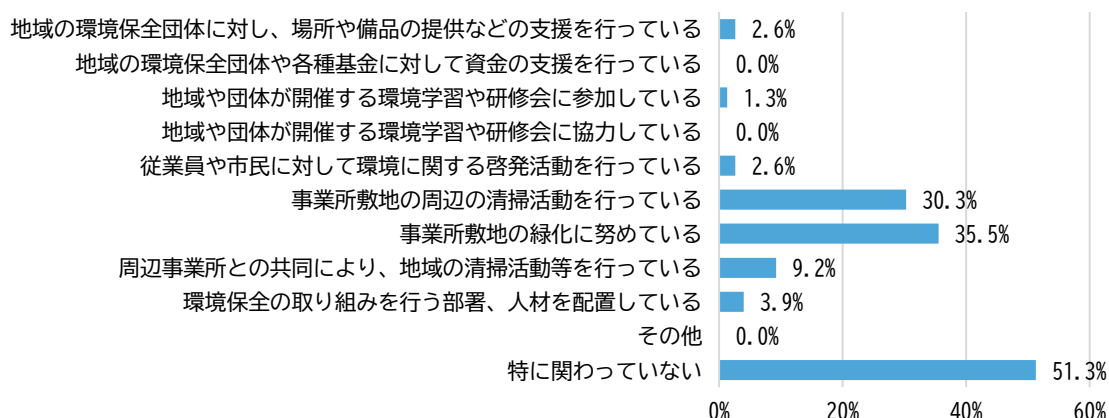
(13) 地域の環境保全活動との関わり方

[複数回答]

- 「事業所敷地の緑化に努めている」が 35.5%、「事業所敷地の周辺の清掃活動を行っている」が 30.3%と事業所周辺の緑化・美化活動を行っている事業所が3～4割程度みられます。
- 「特に関わっていない」が 51.3%であり、環境保全団体等への支援や環境学習・研修会への参加などはあまり行われていません。

■地域の環境保全活動との関り方の内容

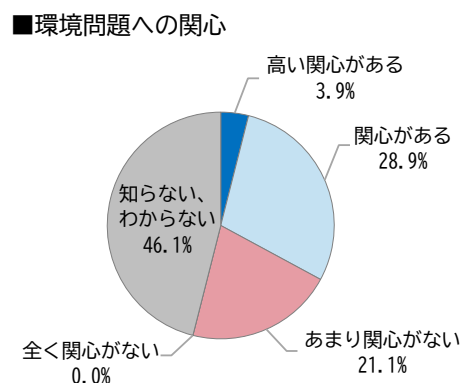
(n:76)



(14) 豊川市が環境問題に対して関心の高い市であるという認識

[单数回答]

- 豊川市が環境問題に対して関心の高い市であるかについては「高い関心がある」が 3.9%、「関心がある」が 28.9%と合わせて 32.8%が、環境問題に対して関心がある市であると思っています。
- 「知らない・わからない」が 46.1%と最も大きな割合を占めています。



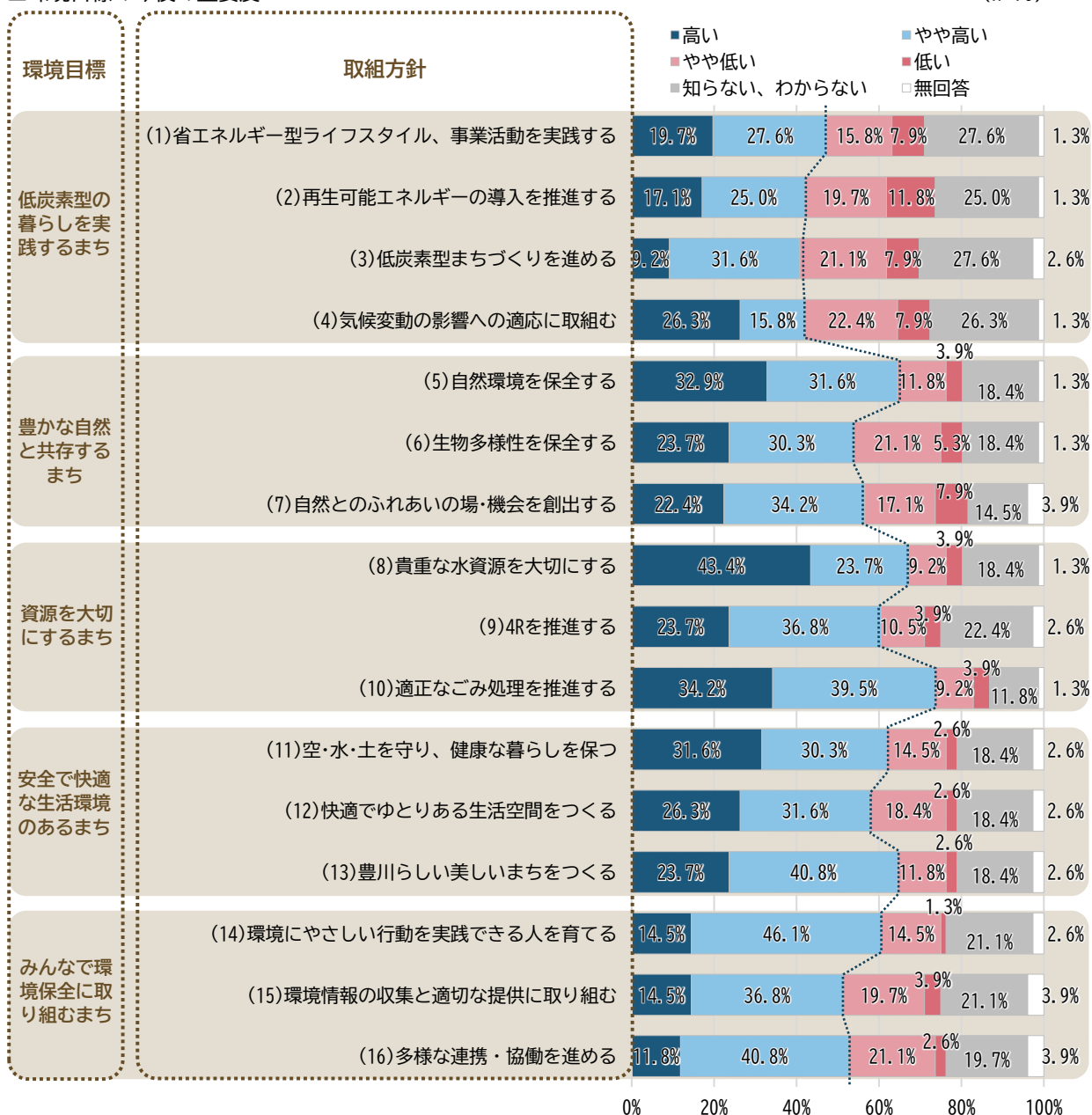
(15) 環境目標の今後の重要度

[単数回答]

- 現行計画の環境目標と取組方針について、「資源を大切にすまち」や「安全で快適な生活環境のあるまち」などの日常生活に関わる環境目標・取組方針は重要性が高いと考えられています。
- 一方で「低炭素型の暮らしを实践するまち」の取組方針については、他の取組方針と比べて重要性が低く考えられています。

■環境目標の今後の重要度

(n:76)



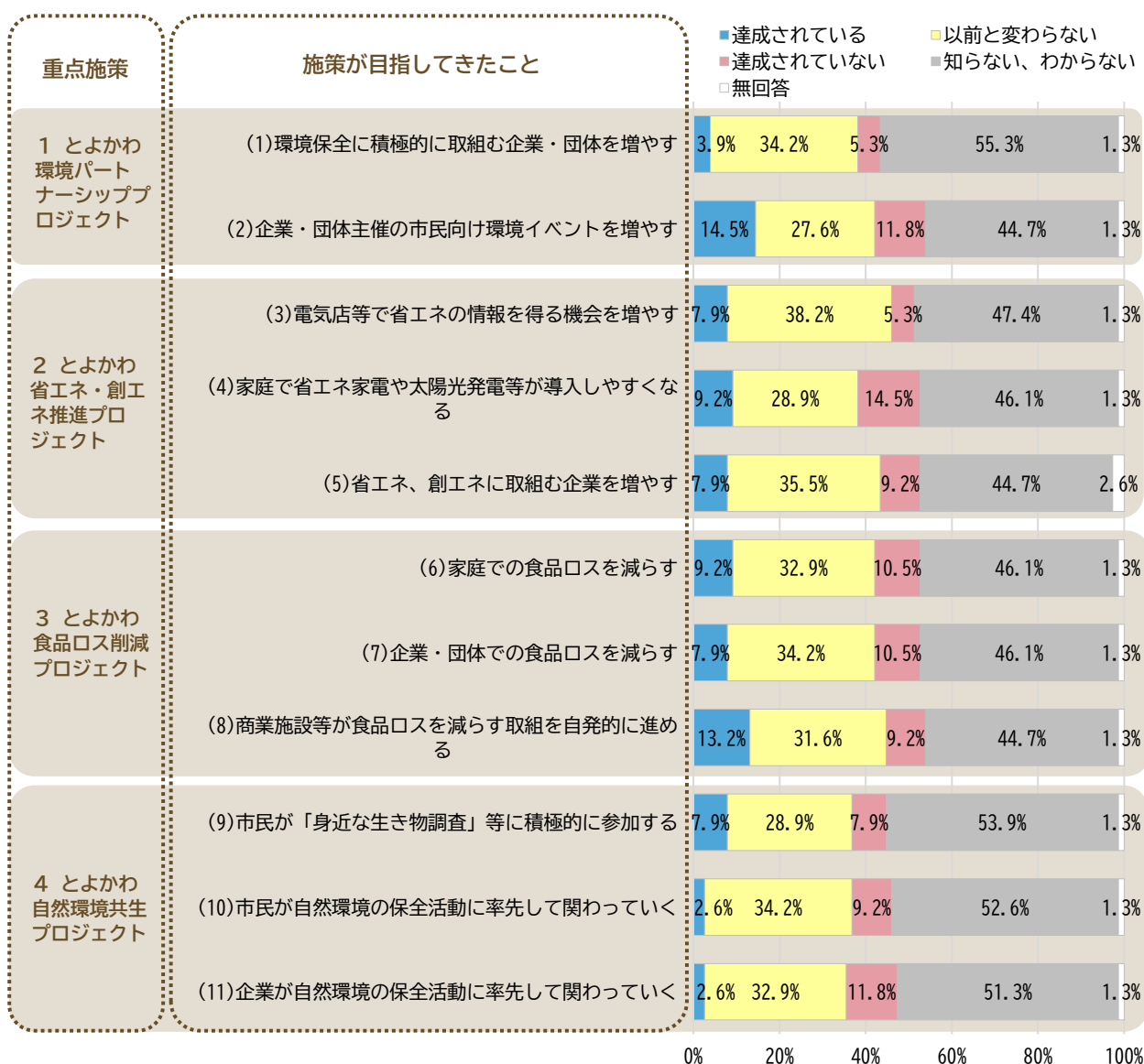
(16) 環境基本計画の重点施策の達成状況への評価

[単数回答]

- 現行計画における4つの重点施策について、どの目標についても「知らない、わからない」が最も多くなっています。
- 「達成されている」という回答については、「(2)企業・団体主催の市民向け環境イベントを増やす」と「(8)商業施設等が食品ロスを減らす取組を自発的に進める」が15%弱で、それ以外が10%を下回っています。
- 重点施策には事業所向けのものが多くあったにも関わらず、その取組が事業所に伝わっていなかったと考えられます。

■4つの重点施策の達成状況の評価

(n:76)

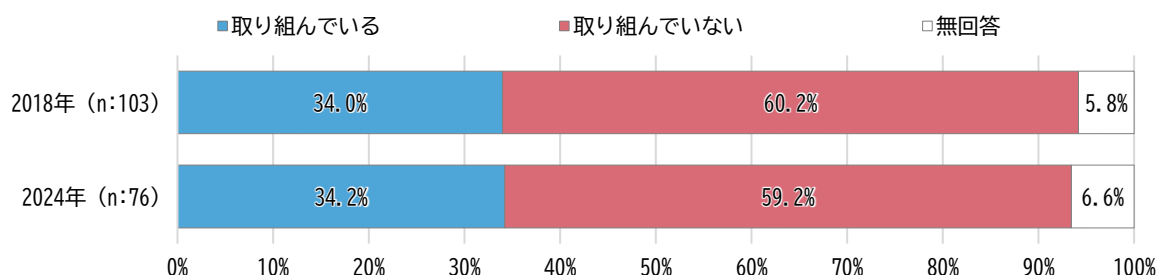


(17) 地球温暖化対策の取組状況

[単数回答]

- 地球温暖化対策に「取り組んでいる」事業所が34.2%となっています。
- 2018年と比べて「取り組んでいる」の割合は、ほとんど変わっていません。

■地球温暖化対策の取組状況



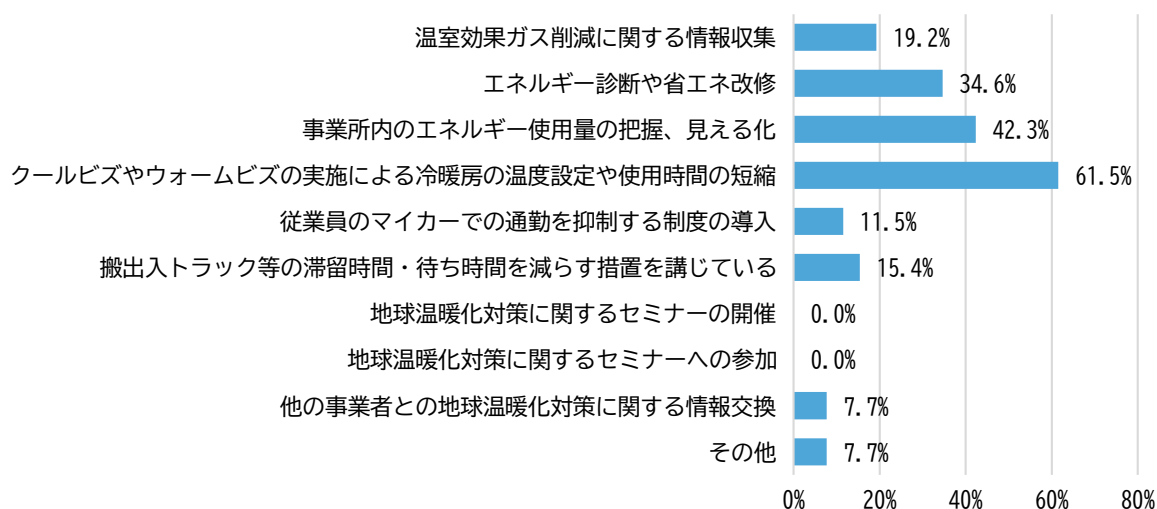
(18) 地球温暖化対策の取組内容

[複数回答]

- 地球温暖化対策の具体的な取組内容では「クールビズやウォームビズの実施による冷暖房の温度設定や使用時間の短縮」が61.5%と最も多く、次いで「事業所内のエネルギー使用量の把握、見える化」が42.3%、「エネルギー診断や省エネ改修」が34.6%となっています。

■地球温暖化対策の取組内容

(n:26)

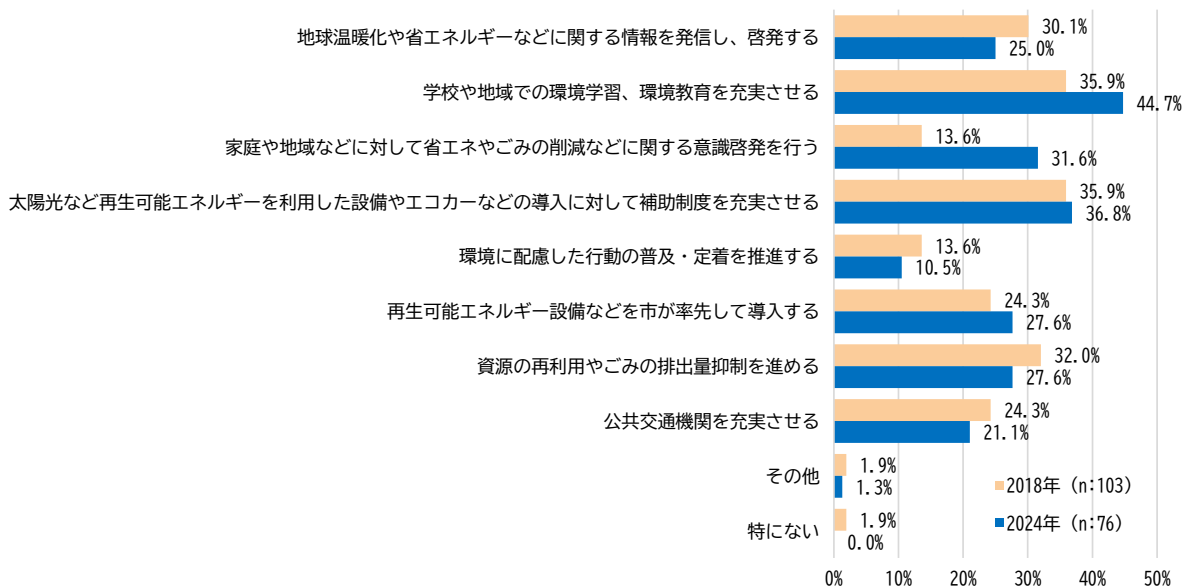


(19) 地球温暖化対策を進めるために取り組むべき施策

[複数回答]

- 「学校や地域での環境学習、環境教育を充実させる」や「太陽光など再生可能エネルギーを利用した設備やエコカーなどの導入に対して補助制度を充実させる」などに取り組むべきとする回答が多くみられます。
- 2018年と比べて「学校や地域での環境学習、環境教育を充実させる」と「家庭や地域などに対して省エネやごみの削減などに関する意識啓発を行う」といった環境教育に対して取り組むべきとする意見が増加しています。

■地球温暖化対策を進めるために本市が取り組むべき施策

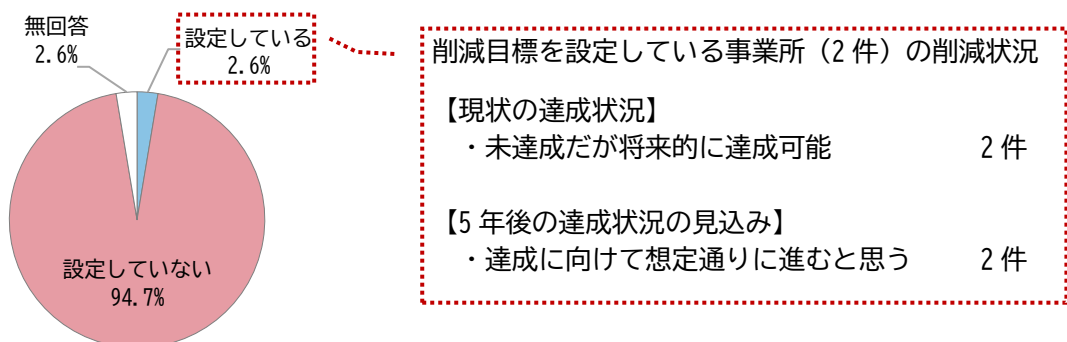


(20) 温室効果ガス排出量の削減目標の設定

[単数回答]

- カーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガス排出量の削減目標を「設定している」事業所は2.6%と非常に少ない状況です。
- ただし、温室効果ガス排出量の削減目標を「設定している」事業所はいずれも、将来的な目標の達成に向けて温室効果ガスの削減が進んでいます。

■温室効果ガス排出量の削減目標の設定状況 (n:76)

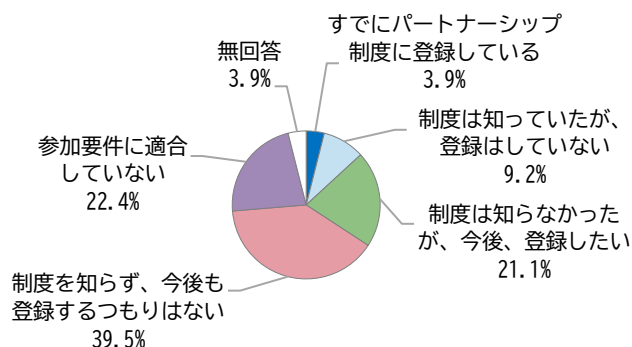


(21) とよかわ環境パートナーシップ制度の登録状況

[単数回答]

- 環境保全の取り組みを、企業や団体の皆様とともに取り組んでいく「とよかわ環境パートナーシップ制度」の登録について、「すでにパートナーシップ制度に登録している」が 3.9%となっています。
- 「制度は知らなかったが、今後、登録したい」が 21.1%あるものの、「制度を知らず、今後も登録するつもりはない」が 39.5%と最も多く回答されています。
- また、「参加要件に適合していない」も 22.4%みられます。

■とよかわ環境パートナーシップ制度の登録状況 (n:76)



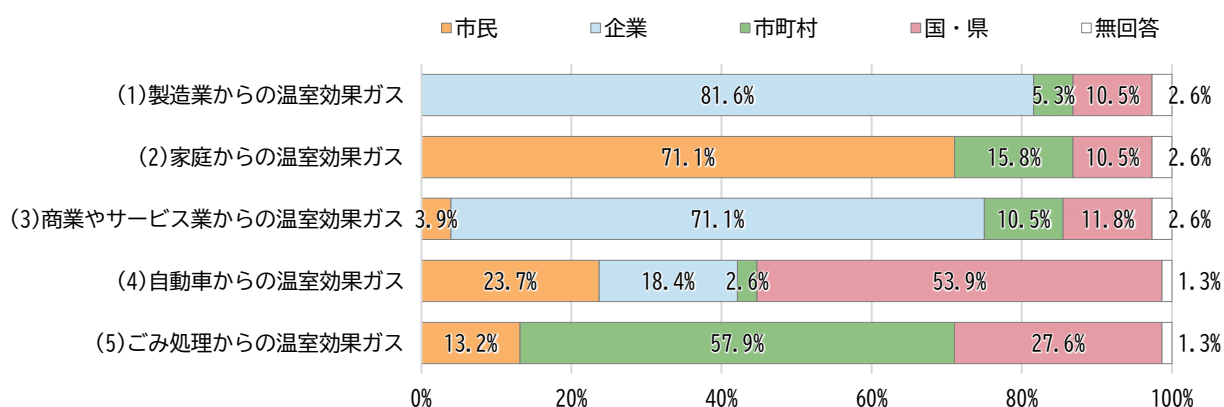
(22) 温室効果ガス排出量の削減を行う役割を担うと思う主体

[単数回答]

- 『(1)製造業からの温室効果ガス』の削減では「企業」が 81.6%と最も多く回答されています。
- 『(2)家庭からの温室効果ガス』の削減では「市民」が 71.1%と最も多く回答されています。
- 『(3)商業やサービス業からの温室効果ガス』の削減では「企業」が 71.1%と最も多くなっています。
- 『(4)自動車からの温室効果ガス』の削減では「国・県」が 53.9%と最も多く、自動車利用の主体である「市民」は 23.7%、「企業」は 18.4%にとどまっています。
- 『(5)ごみ処理からの温室効果ガス』の削減では「市町村」が 57.9%と最も多く、次いで「国・県」が 27.6%となっています。

■排出量の削減を行う役割を担うと思う主体

(n:76)



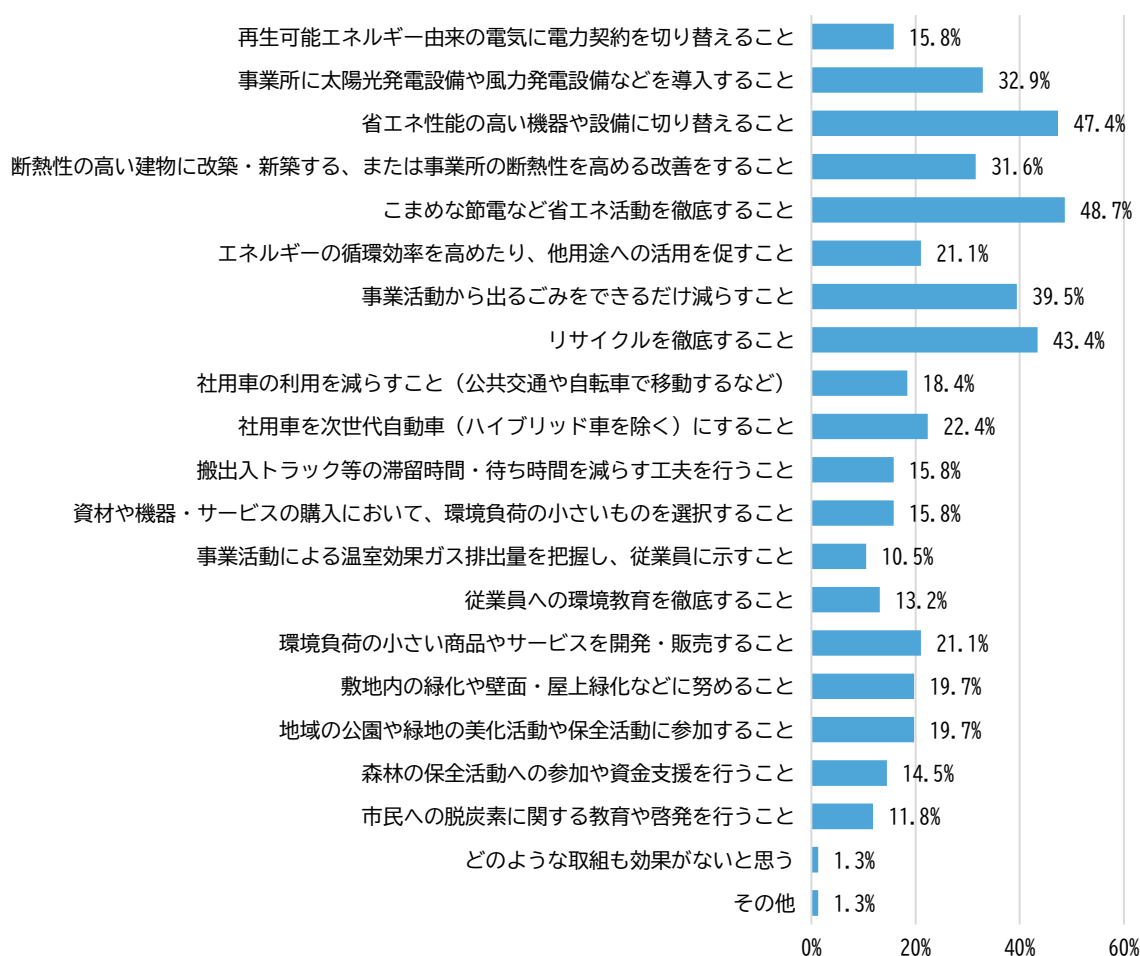
(23) 温室効果ガスの削減に効果があると思う事業所の取組

[単数回答]

- 温室効果ガスの削減に効果があると思う取組では「こまめな節電など省エネ活動を徹底すること」や「省エネ性能の高い機器や設備に切り替えること」の高い設備に切り替えることなど省エネの取組には効果があると考えている事業所が多い状況です。
- 「事業所に太陽光発電設備や風力発電設備などを導入すること」や「再生可能エネルギー由来の電気に電力契約を切り替えること」などの再生可能エネルギーに関する取組は省エネの取組に比べて効果があると考えている事業所が少ない状況にあります。

■温室効果ガスの削減に効果があると思う事業所の取組

(n:76)

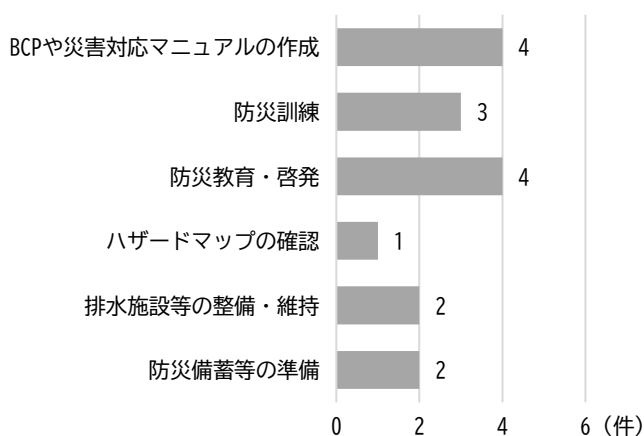


(24) 気候変動に伴う災害への「適応」として思いつく具体的な対策

[自由回答]

- 18 事業所から自由回答を得られました。
- 回答された内容を分類すると、BCPや災害対応マニュアルを作成することや防災訓練や防災に関する教育・啓発を従業員に対して行うことが挙げられました。

■気候変動への「適応」として思いつく具体的な対策 (n:18)

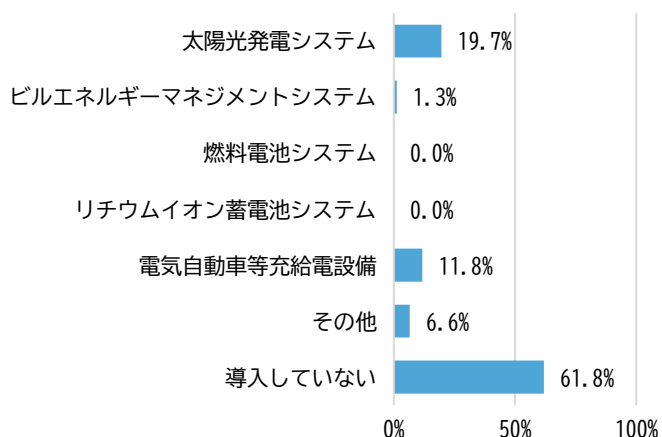


(25) 地球温暖化対策設備の導入状況

[複数回答]

- 「太陽光発電システム」が19.7%、「電気自動車等給電設備」が11.8%の事業所に導入されています。
- 地球温暖化対策設備「導入していない」事業所が61.8%となっています。

■地球温暖化対策設備の導入状況 (n:76)

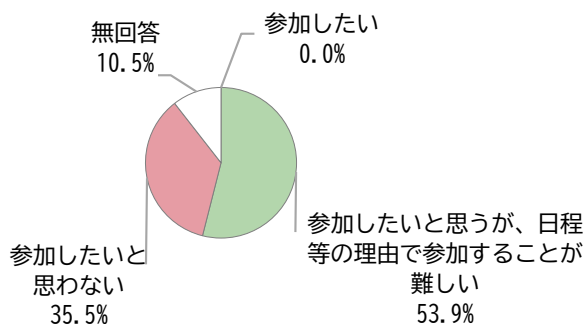


(26) 中小企業向けの省エネルギーセミナーへの参加意向

[自由回答]

- 「参加したいと思うが、日程等の理由で参加することが難しい」が53.9%と参加したいという意向のある企業は半数以上あります。

■中小企業向けの省エネルギーセミナーへの参加意向 (n:76)



参考 アンケートの設問と設問の意図

アンケートの設問とその意図を以下に示します。

現行計画策定のために 2018 年に実施した事業所アンケートの結果との比較などを行うことを考慮しています

設問	設問の意図
問 1 貴事業所は、環境問題に関心がありますか。 (単数回答)	環境問題への関心を把握し、2018 年調査からの関心の変化についても捉えます。
問 2 貴事業所は、環境保全の取組についてどのようにお考えですか。 (複数回答)	環境保全の取組に対する事業所の姿勢や考え方を把握し、2018 年調査からの関心の変化についても捉えます。
問 3 貴事業所では、事業活動から発生する環境負荷に関するどのようなデータを把握していますか。 (複数回答)	事業所の温室効果ガスや化学物質、廃棄物等のデータの把握状況を把握します。 事業所の規模や環境に関する業務を扱う部署の有無等による把握状況の違いを捉えます。
問 4 問 3 での把握しているデータについて、ホームページ等で公表し、情報発信しているものはありますか。 (複数回答)	事業所の温室効果ガスや化学物質、廃棄物等のデータの公表状況を把握します。 事業所の規模や環境に関する業務を扱う部署の有無等による公表状況の違いを捉えます。
問 5 貴事業所は、次のような環境保全の取組を実行していますか。各項目について、該当する番号に○印をつけてください。 (単数回答)	環境保全の取組状況を把握し、2018 年調査からの取組状況の変化を捉えます。
問 6 環境マネジメントシステムについて、貴事業所の取組状況に当てはまるものはどれですか。 (複数回答)	環境マネジメントシステムの導入の有無や構築している環境マネジメントシステムの種類を把握し、2018 年調査からの導入状況の変化を捉えます。 事業所の規模や環境に関する業務を扱う部署の有無等による導入状況の違いを捉えます。
問 7 環境保全に関する従業員教育について、貴事業所の取組状況や考え方に当てはまるものはどれですか。 (単数回答)	従業員への環境教育の状況について把握し、2018 年からの変化をとらえます。 事業所の規模や環境に関する業務を扱う部署の有無等による教育の状況を把握します。
問 8 環境保全の取組やマネジメントシステムの導入等によってどのような効果が得られましたか。 (複数回答)	環境保全活動を民間企業が行うことのメリットについてどのように考えているかを把握します。
問 9 今後の環境保全についての取組の方向性に最も近いものはどれですか。 (複数回答)	今後の環境保全活動の取組意向やその理由について把握します。
問 10 環境保全の取組を実行する上で課題と感じていることはありますか。 (複数回答)	事業所の環境保全活動を支援するうえで、どのようなことに課題を感じているかを把握し、2018 年調査からの課題の変化を捉えます。 事業所の規模等による課題の違いを把握します。
問 11 貴事業所が環境保全の取組をより積極的に実行していくために、どのようなことが必要ですか。 (複数回答)	環境保全の取組の実施にあたって、事業所が求めている支援等を把握し、2018 年調査からの課題の変化を捉えます。 事業所の規模等による課題の違いを把握します。

設問	設問の意図
問 12 貴事業所は、地域の環境保全の取組にどのように関わっていますか。 (複数回答)	環境保全活動における地域との連携状況を把握し、2018 年調査からの変化を把握します。 事業所の規模等による関わり方の違いを把握します。
問 13 豊川市は環境問題に対して関心が高い市であると思いますか。 (単数回答)	これまで環境基本計画に基づく取組を実施してきた中で、事業所が豊川市の環境問題に対する姿勢をどう評価しているかを把握します。
問 14 本市の環境基本計画に関する環境目標について、今後の重要度をどのように考えますか。表右側の重要度について、該当する番号に○印をつけてください。 (単数回答)	環境基本計画の見直しに向けて、現行計画に位置付けた環境目標及び取組方針の評価を把握します。
問 15 環境基本計画では、本市の環境目標を達成するために重点的に取り組む4つの【重点施策】を位置付けて取組を進めてきました。それぞれの重点施策が目指す目的が、どの程度達成されていると感じますか。 (単数回答)	現行計画の重点施策に対する事業者の認知度や事業者の目から見た施策の目的の達成状況の評価を把握し、重点施策の見直しについての検討材料とします。
問 16 貴事業所では、地球温暖化対策に取り組んでいますか。 (単数回答)	地球温暖化対策への取組状況を把握し、2018 年調査からの変化を把握します。
問 17 貴事業所ではこういった地球温暖化対策に取り組んでいますか。 (複数回答)	地球温暖化対策に取り組んでいる事業所の具体的な取組内容を把握し、2018 年調査からの変化を捉えます。
問 18 地球温暖化対策を進めるため、本市はどのような施策に取り組むべきだと考えますか。 (複数回答)	行政が取り組むべきことや求められる支援のあり方について把握し、2018 年調査からの変化を捉えます。
問 19 貴事業所ではカーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガス排出量の削減目標を明確に設定（例えば 2050 年度までに実質ゼロを目指す等）していますか。 (単数回答)	市内の事業所が地球温暖化対策の推進に向けて、具体的な削減目標を設定したうえで取組を進めているかを把握します。 削減目標を設定している場合、下記の①～③で詳細な内容を把握します。
①目標値を教えてください (自由回答)	具体的な削減目標の内容を把握します。 例：2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46%削減する など
②現状の達成状況 (単数回答)	削減目標に対する現状の達成状況を把握します。
③5 年後の達成状況の見込み (単数回答)	5 年後に削減目標が達成できるかについて把握します。
問 20 本市では、環境保全の取り組みを、企業や団体の皆様とともに取り組んでいく「とよかわ環境パートナーシップ制度」を創設していますが、ご存じでしたか。 (単数回答)	重点プロジェクトのうち、市内事業所と連携して取組を行う「とよかわ環境パートナーシップ制度」の認知度や登録の状況などを把握します。

設問	設問の意図
問 21 温室効果ガスの発生源それぞれについて、排出量を削減する役割を誰が担っていると思いますか。 (単数回答)	温室効果ガスの削減について、産業部門等の事業所が主たる役割を果たすべき部門について、主たる役割を担うことを認識しているかどうかについて把握します。
問 22 2050 年に市内の事業活動からの温室効果ガス排出量をゼロに近づけるために、市内の事業者がどのようなことに取り組むことに効果があると考えますか。 (複数回答)	自事業所が実行可能かどうかにかかわらず、有効だと考えられている温室効果ガスの削減に向けた取組を把握します。
問 23 本市では、令和 5 年 6 月 2 日に、観測史上最大の降水量となる記録的な大雨が発生し、市内各地に様々な被害をもたらしました。気候変動の進行とともにより激しい大雨や頻度の増加も懸念されており、私たちはその変化に「適応」していく必要があります。 貴事業所における気候変動に伴う災害への「適応」として思いつく、具体的な対策があれば教えてください。 (自由記入)	令和 5 年豊川豪雨災害による、企業の気候変動やそれによる風水害の激甚化に対する意識の変化や防災への取組意識を把握します。
問 24 事業所の属性 (単数回答)	業種、従業員数、環境に関する業務や作業を取り扱う部署・担当者の設置状況、所在地区、事業所の立地年数、建物の所有形態を把握します。
問 24 地球温暖化対策設備導入状況 (複数回答)	太陽光発電設備等の地球温暖化対策設備の導入状況を把握します。
問 25 市民による環境保全の取組について、提案、期待すること等があれば、ご自由にお書きください。 (自由回答)	市民・民間事業者間の連携に向けて、市内事業者が市民に期待することを把握します。
問 26 本市の環境面からのまちづくりへの提案、期待、要望等があれば、ご自由にお書きください。 (自由回答)	本市の環境施策への要望等を把握します。
問 27 本市では、中小企業向けの省エネルギーセミナーを令和 6 年 6 月 25 日（火）に実施予定です。参加したいと思いますか。	中小企業向けの省エネルギーセミナーの PR のための質問です。